



『医事業務』10月1日号 巻頭クローズアップ 次期診療報酬改定ではどうなる？ インターネット・ゲーム・スマホ依存症に対する治療 刊行のご案内

医療経営・人事労務分野の情報機関で、医療に関する事務業務の専門誌を手がける産労総合研究所の『医事業務』編集部(編集長 田中利男)では、10月1日号の巻頭クローズアップで「次期診療報酬改定ではどうなる？ インターネット・ゲーム・スマホ依存症に対する治療」を掲載しました。



いまや日本でも災害レベルで感染拡大が続いている新型コロナウイルスですが、昨年から社会生活を大きく制限されている中で増加傾向にある疾患があります。それは、インターネット・ゲーム・スマホによる依存症です。正式には2022年1月から「ゲーム障害」が発効されますが、今号の巻頭ではネット依存専門外来で診療を行っている東京医科歯科大学病院の治徳大介先生からお話をうかがいました。ぜひ『医事業務』の書評や編集部へのインタビュー取材などご検討いただければ幸いです。書評や取材などをご希望される場合には10月1日号を1冊進呈させていただきます。

【書籍情報】

国の財政が厳しい状況の中、診療報酬の大幅な改革によって医療機関にも大きな影響が及んでいます。このような現状で病院経営をしっかりと支えていく柱になるのが事務職です。特に医事担当者は、病院の収入に直結する診療報酬請求業務の正確性が求められます。加えて施設基準の届出業務や適時調査・個別指導への準備と対応は、病院経営の収益に影響するため、制度に適した情報と各種具体事例に基づいた情報収集が必須です。『医事業務』は医事現場で直面する課題解決と、すぐに実務で役立つ情報が満載です。また、ネットでは得られない実際の医療機関での事例を掲載しています。さらにSNS、セミナーや勉強会を通して、双方向および同職種の方との情報交換も可能で、かつ読者限定で貴重な資料データなども提供しています。

【医事業務】

- 創刊 平成6年(1994年) A4判変形/毎号64頁
- 毎月1日・15日発行(月2回・年間22冊) 年間購読料 59,400円(税込)

【株式会社 産労総合研究所】

株式会社 産労総合研究所(本社:東京都千代田区永田町、代表取締役:平盛之)は、人事労務・医療介護経営分野における出版を中心に、同分野での調査研究・提言を行う民間シンクタンクです。



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 産労総合研究所 担当: 田中
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 三宅坂ビル TEL03-5860-9762 E-mail: edt-h@sanro.co.jp